

第 2 章

氣 象

第 2 章 気 象

概況(平成12年)

1 月

この月は、上・中旬は冬型の気圧配置が長続きせず、暖かい日が多く、旬平均気温はともに平年に比べてかなり高くなった。下旬は冬型の気圧配置となる日が多かった。月平均気温はやや高く、月降水量は平年並、月間日照時間はやや少なかった。

2 月

この月は、期間を通して冬型の気圧配置となる日が多く、特に月の後半は寒い日が続いた。時折、強い寒気が入り込んだため、強風や積雪による災害も相次いだ。月平均気温はやや低く、月降水量、月間日照時間はともに平年並だった。

3 月

この月は、低気圧と高気圧が交互に通リ、天気は概ね周期的に変化した。28日は気圧の谷の影響で天気が崩れ、寒冷前線が通過した際に強風やひょうによる被害が発生した。月平均気温は平年並、月降水量はやや少なく、月間日照時間はやや多かった。

4 月

この月は、天気は周期的に変化した。ほぼ5日の周期で気圧の谷が日本付近を通過し天気が崩れたが、その他の日は移動性高気圧に覆われ概ね晴れた。月平均気温は平年並、月降水量はやや少なく、月間日照時間は平年並だった。

5 月

この月は、上旬は移動性高気圧に覆われて晴れる日が多かった。中・下旬は大気の状態が不安定で曇りや雨となる日が多かった。また期間中に大阪で雷を観測した日数が5日(平年は1.0日)と多く、13日、17日は落雷による災害が発生した。月平均気温はかなり高く、統計開始以来2番目の高温を記録した。月降水量はやや少なく、月間日照時間は平年並だった。

6 月

この月は、上旬は高気圧に覆われて晴れる日が多かった。8日夜から天気がぐずつき、近畿地方は9日頃(平年は8日)に梅雨入りした。中・下旬は梅雨前線や低気圧の影響で曇りや雨となる日が多かった。月平均気温は平年並、月降水量は平年並、月間日照時間はやや少なかった。

7 月

この月は、上・下旬は高気圧に覆われて晴れる日が多かった。中旬は梅雨前線の影響でぐずついた天気になる日が多かったが、まとまった雨は降らなかった。また18日頃に梅雨明けした。月平均気温はかなり高く、月降水量は0.5mm(平年は53.5mm)とかなり少なく、月間日照時間はやや多かった。

8 月

この月は、太平洋高気圧に覆われ、晴れて暑い日が多かった。一時的に、上空の寒気や南からの暖かく湿った空気の影響で大気の状態が不安定となり、午後を中心ににわか雨や雷雨となるところがあった。月平均気温はかなり高く、月降水量はかなり少なく、統計開始以来3番目に少ない降水量の記録となった。(日照時間は欠測を含むため、月間日照時間の平年比、階級区分は求めていない。)

9 月

この月は、移動性高気圧に覆われて晴れる日が多かった。上旬の終わりから中旬のはじめにかけては、西日本付近に停滞する秋雨前線の影響でまとまった雨となり、各地で被害が相次いだ。月平均気温はかなり高く、月降水量、月間日照時間はともにやや多かった。

10 月

この月は、天気は概ね周期的に変化した。ひと雨毎の降水量が比較的多く、まとまった雨となる日もあった。中旬は前半を中心に晴れる日が続いた。月平均気温はかなり高く、月降水量はやや多く、月間日照時間はやや少なかった。

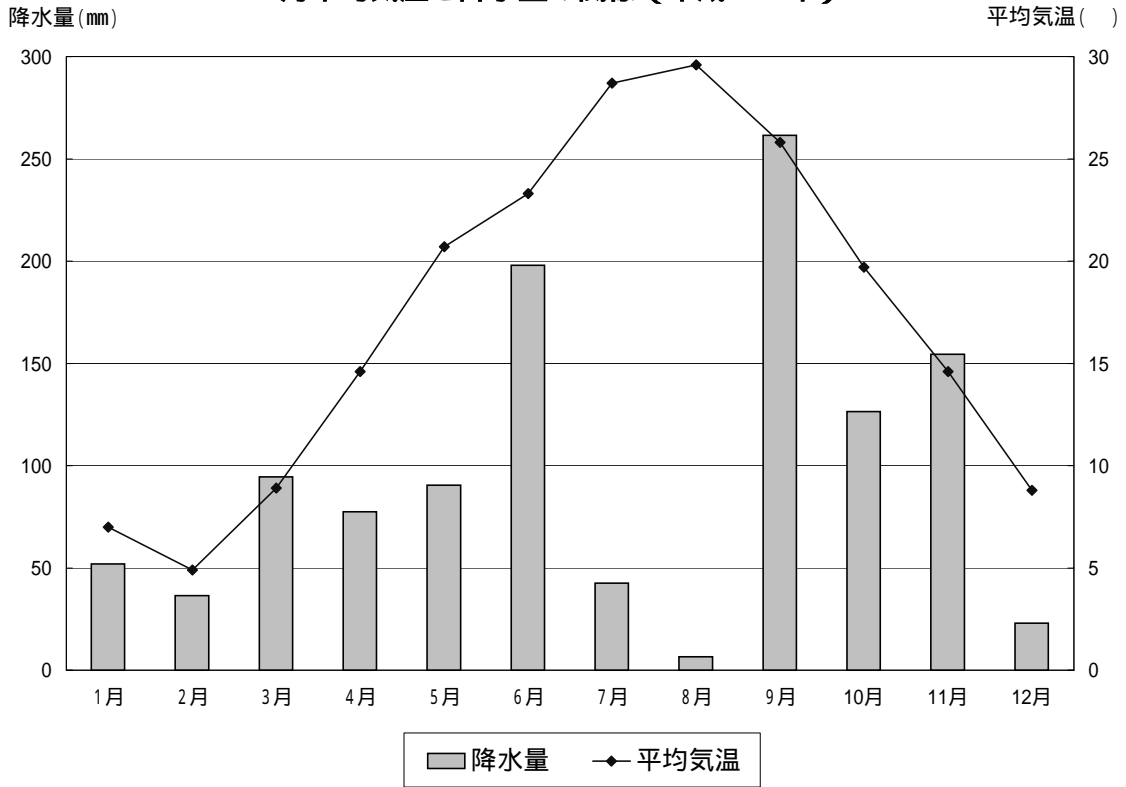
11 月

この月は、月のはじめはまとまった雨となり、各地で災害が発生した。特に2日の日降水量は月降水量の平年値(65.1mm)とほぼ等しい65.0mmとなった。上旬の中頃と下旬は移動性高気圧に覆われて概ね晴れる日が多かったが、中旬は前線の影響でぐずついた天気の日が多かった。月平均気温はかなり高く、月降水量はかなり多く、月間日照時間はやや少なかった。

12 月

この月は、上・下旬は移動性高気圧に覆われて晴れる日が多かったが、中旬は低気圧の影響でぐずついた天気の日が多かった。月平均気温はやや高く、月降水量はやや少なく、月間日照時間はやや多かった。

月平均気温と降水量の関係 (平成 12 年)



月別日照時間 (平成 12 年)

